

マーケットの動き（2023年7月17日～7月21日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で上昇（円安）しました。

G20（20カ国・地域）財務相・中央銀行総裁会議において植田日銀総裁が金融緩和継続を示唆したことや、6月英国CPI（消費者物価指数）の伸び率鈍化、週間の米国新規失業保険申請件数が減少し労働市場の底堅さを示したことなどが米ドル買いを進め、米ドルは141円台後半まで上昇しました。

ユーロは前週末比、対円で上昇した一方、対米ドルで下落しました。

投資環境見通し（2023年7月）

円に対して米ドルはレンジ内での動き、ユーロは上昇

米ドル：金融政策の方向性の違いからドルの上昇圧力が残るとみられますが、円安ドル高が進む場面では日本政府からの円安けん制発言に加えて、日銀が金融政策を修正するとの見方が広がりやすく、次第にドルの上値は重くなり、ドルは円に対してレンジ内での動きになるとみています。

ユーロ：インフレ率が依然として高水準にあり、ECB（欧州中央銀行）が追加利上げを行うとの見方もあり、金融政策の方向性の違いを背景にユーロは円に対して上昇するとみえています。

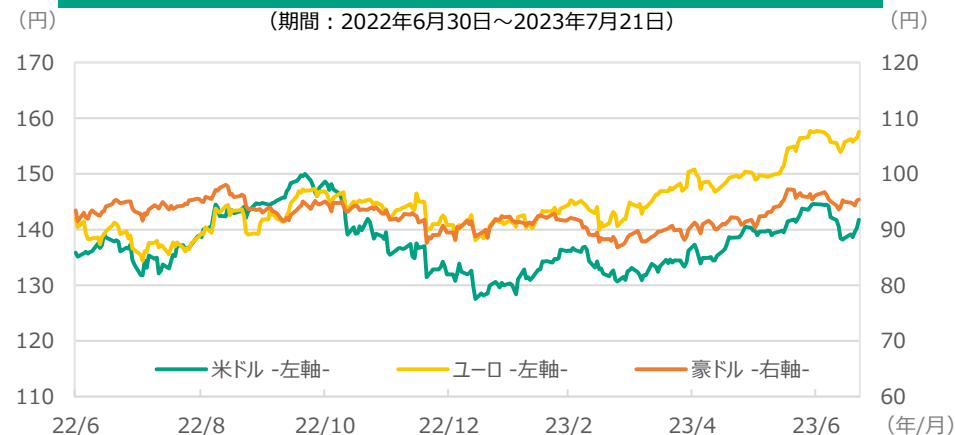
	7月21日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	141.76	3.26	▲0.28	11.83	3.92
ユーロ/円	157.54	1.84	1.94	16.82	17.06

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

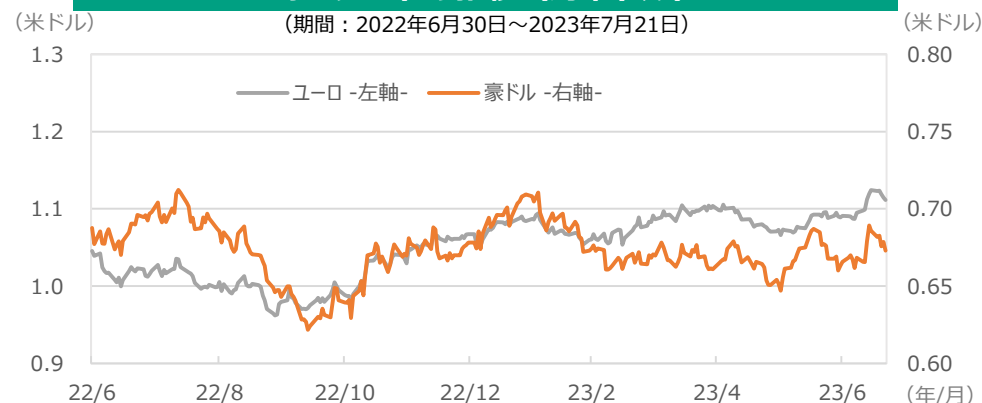
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202307_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>